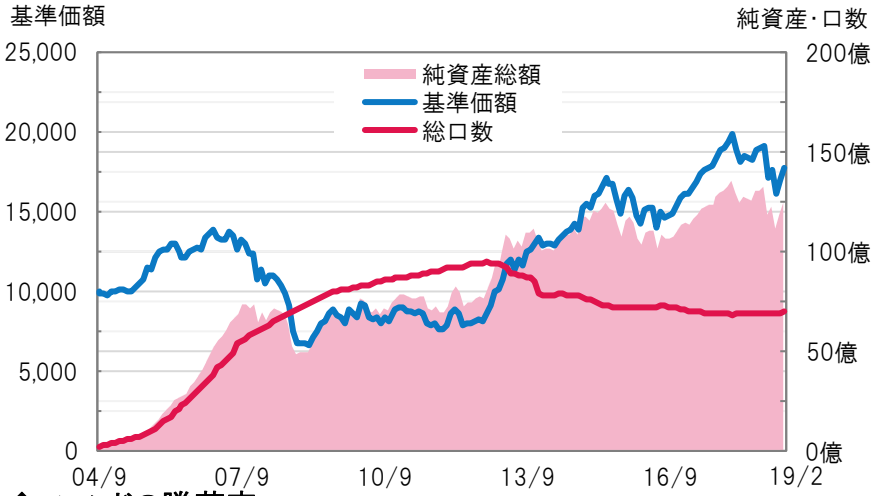
2019
3月

ありがとうファンド　月次運用レポート

第 175 号-②【基準日 2019 年 2 月 28 日】

◆基準価額の推移



◆ファンドの情報

基準価額	17,842円
純資産総額	124億34百万円
口座数	4,788
積立割合	52.9%

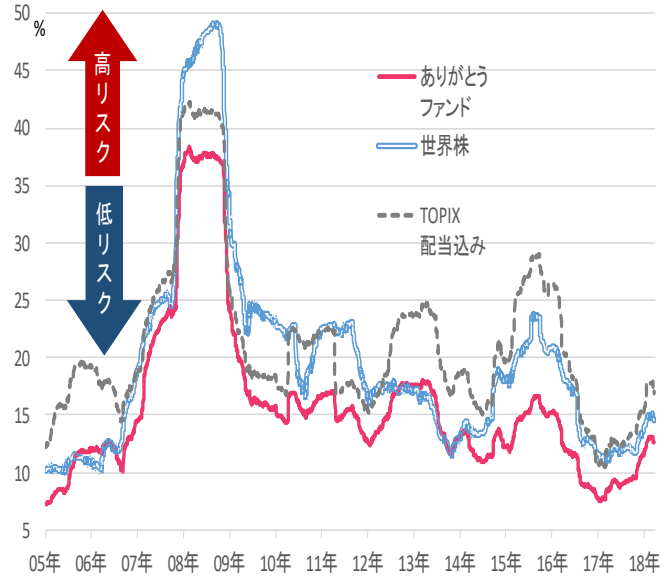
R&I ファンド大賞 2018　投資信託10年部門 優秀ファンド賞 R&I Fund Award 2018

◆ファンドの騰落率

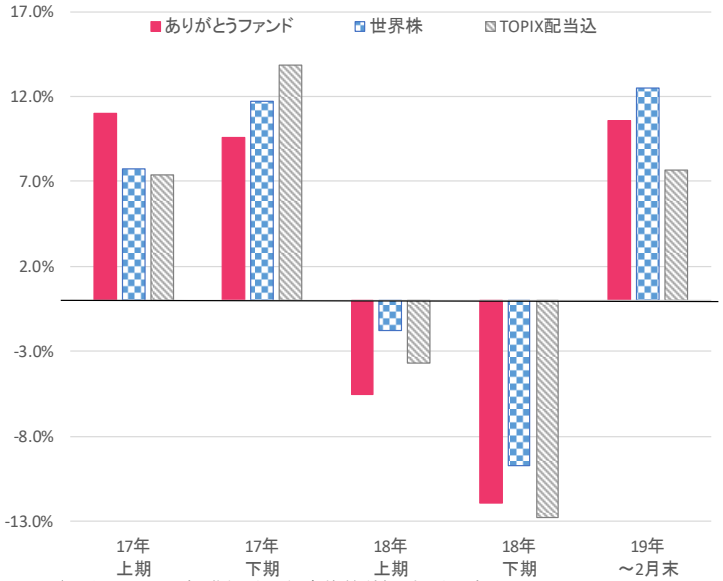
ファンド/参考指数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利
ありがとうファンド	+4.9%	+1.0%	▲6.0%	▲5.5%	+24.6%	+37.0%	+78.4%	4.07%
世界株（MSCI ACWI、円）	+5.1%	+1.1%	▲2.3%	+4.0%	+44.1%	+51.9%	+195.9%	7.77%
TOPIX配当込み	+2.6%	▲3.3%	▲6.4%	▲7.1%	+32.2%	+47.2%	+85.2%	4.34%

※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、ありがとうファンド設定来（2004 年 9 月 1 日）からのデータを基に、弊社にて計算しております。参考指数（円ベース）の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。（レポート最終ページに注記があります。）

◆値動きの大きさの推移（250 営業日リスク推移）



◆騰落率比較（2017 年年初～）

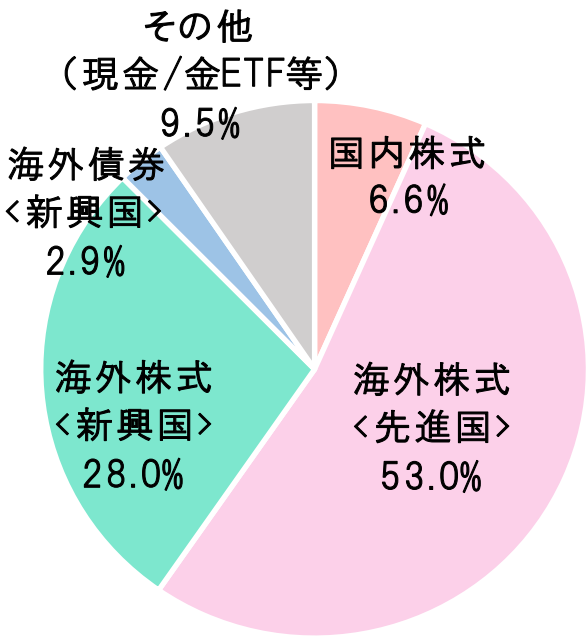


※**値動きの大きさの推移について**：設定来の日次リターンを基に過去 250 営業日のリスク（日次リターンの標準偏差の年率換算値）の推移を表したもの。
簡単に説明すると、数値が高いほど日々の値動きの幅が大きいことを表し、逆に数値が低いほど日々の値動きの幅が小さいことを表します。ありがとうファンドは値動きの幅を低位に抑える運用を心掛けています。

ありがとう投信株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第 304 号　一般社団法人投資信託協会会員

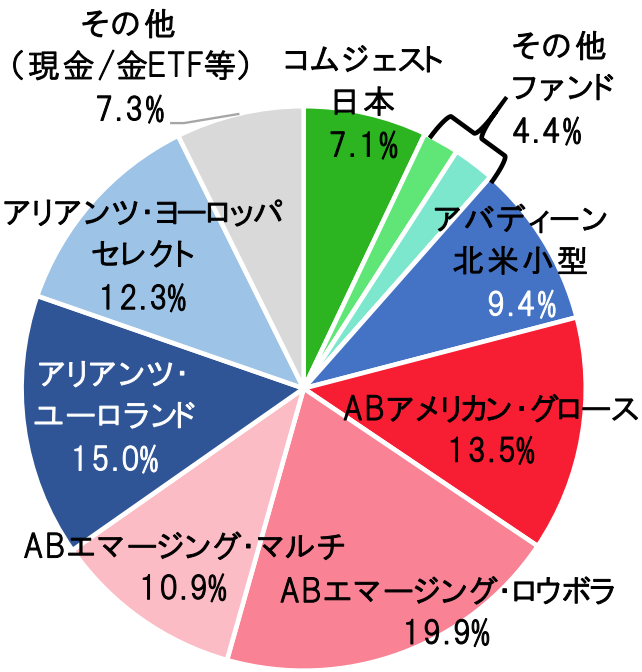
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆資産配分（1 月末時点）



地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	6.6%	6%	+0.6%
海外株式<先進国>	53.0%	55%	−2.0%
海外株式等<新興国>	30.8%	33%	−2.2%
その他（現金/金ETF等）	9.5%	6%	+3.5%

◆ポートフォリオ（2 月末時点）



◆アクティブシェア（12 月末時点、原則四半期末開示）

ファンド名（略称）	アクティブシェア※	参考指数
コムジェスト日本株式	87%	TOPIX
コムジェストヨーロッパ	87%	MSCIヨーロッパ
コムジェストエマージング	82%	MSCIエマージングマーケッツ
アバディーン北米小型	95%	ラッセル2000
ABアメリカン・グロース	67%	ラッセル1000グロース
ABエマージング・ロウボラ	69%	MSCIエマージングマーケッツ
ABエマージング・マルチ	株式66% 債券33%（注1）	なし
アリアンツ・ユーロランド	69%	S&Pユーロゾーン・ ラージミッドキャップ・グロース
アリアンツ・ヨーロッパセレクト	72%	S&Pヨーロッパ・ ラージキャップ・グロース

※アクティブシェアとは、各ファンドのベンチマークもしくは参考指数に対して異なる割合を表しています。上記のアクティブシェアは各ファンドの運用会社の開示を基に掲載しています。注 1：AB エマージング・マルチファンドについては、株式と債券複合の運用で参考指数がないため、参考までに各資産の組入比率を開示しています。

R&I ファンド大賞 2018 iDeCo・DC部門 優秀ファンド賞 R&I Fund Award 2018
R&I ファンド大賞 2018 NISA部門 優秀ファンド賞 R&I Fund Award 2018

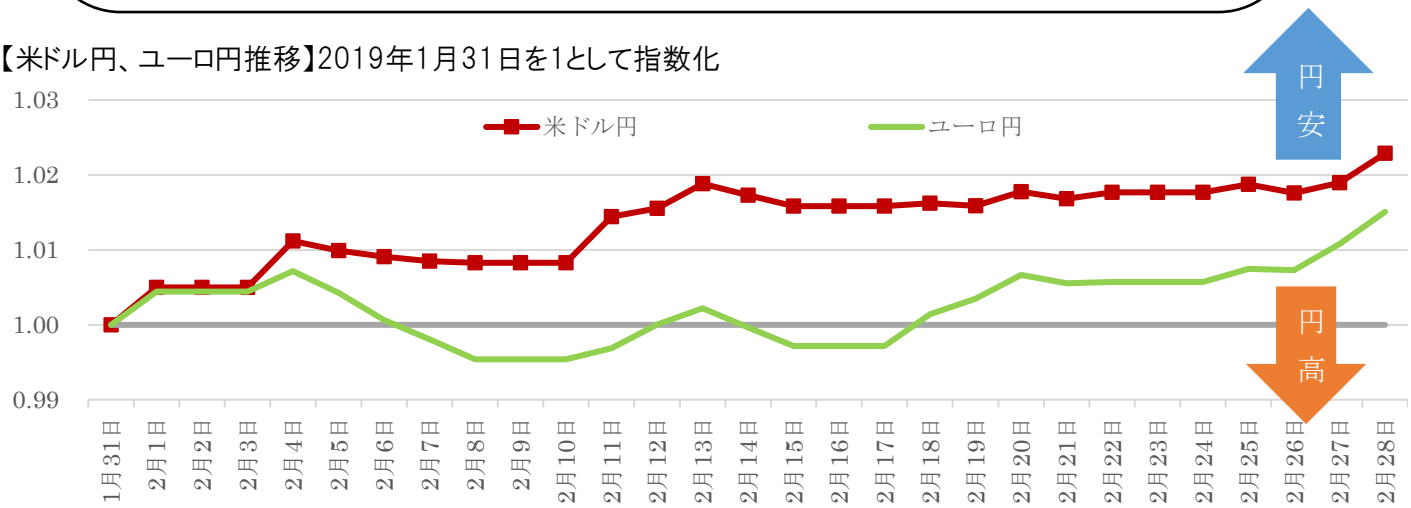
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆直近のマーケット動向について

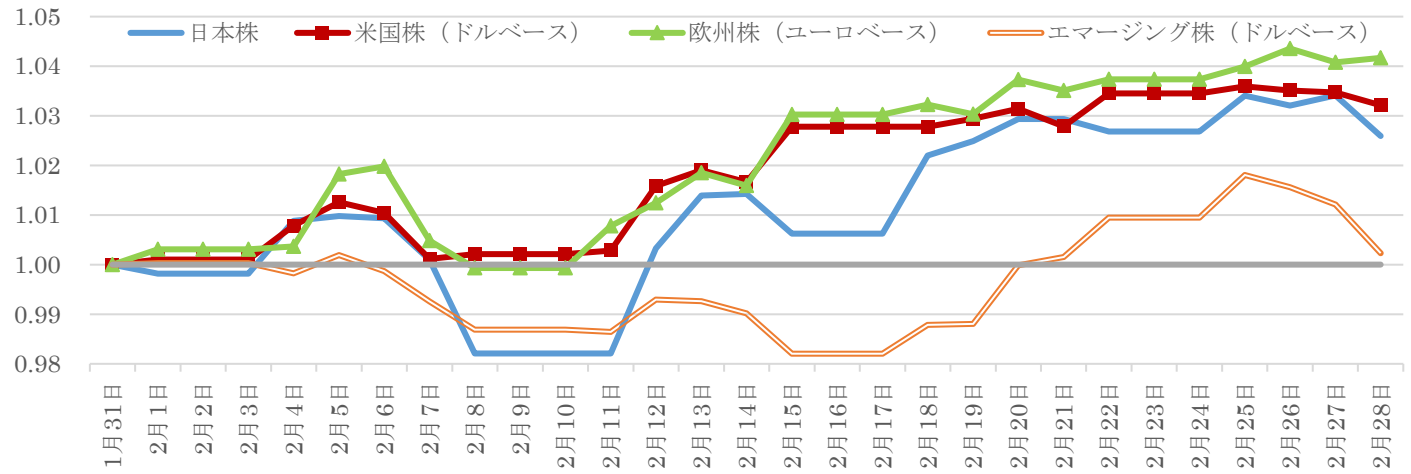
2月のマーケットはどうだったの?
米中貿易摩擦や、米朝首脳会談について毎日のようにニュースで見たけど･･･。

2 月のマーケットの動きですが、引き続き米国政治、米中貿易摩擦の動向に左右される相場になりましたが、総じて年初からの上昇基調を引き継ぐ形の 1 ヶ月になりました。序盤は米中通商協議について、トランプ大統領が交渉期限である 3 月 1 日まで首脳会談開催を否定したことなどが嫌気され、世界株式市場が総じて下落する局面もありましたが、その後米国政府機関の閉鎖回避への期待が高まったこともあり、持ち直す展開になりました。中盤から後半にかけては、トランプ大統領が国家非常事態宣言に署名するとの報道が相場を押し下げる場面も見られましたが、米中通商交渉がワシントンで再開されたこと、トランプ大統領が米中通商問題の合意に至る可能性があると述べたことなどが好感され、上昇相場に転じました。

【米ドル円、ユーロ円推移】2019年1月31日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2019年1月31日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(使用している指数についてはレポート最終ページの注記を確認ください。)

ありがとう投信株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第 304 号　一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記現地通貨ベースの指数推移を参照していただくと、エマージング株式市場が他の国・地域株式市場に比べてやや出遅れ感が見られる１ヶ月になりました。

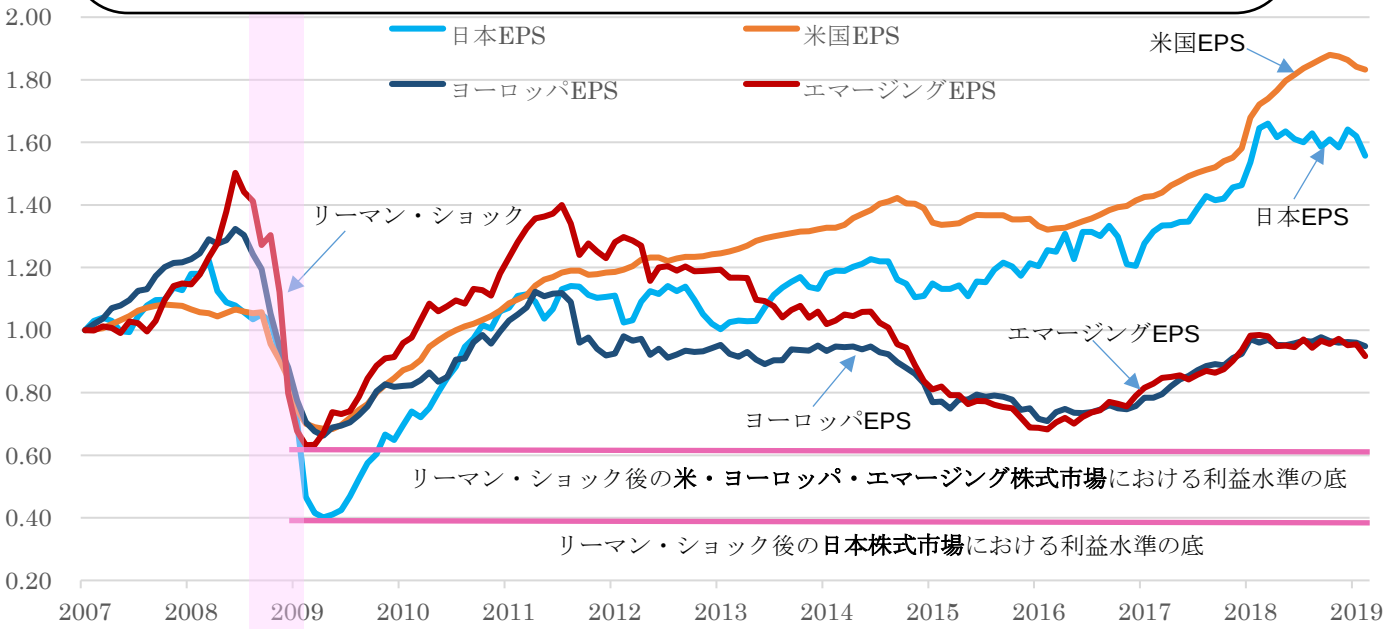
ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

ありがとうファンドの２月月間騰落率は 4.9%の上昇となりました。今月も年初からの回復相場が継続し、世界株式市場は昨年末に大きく売られたところからの買戻しが進んだ１ヶ月になりました。しかしながら、パキスタン国境でのテロをきっかけにインドとの関係緊迫化や、米朝協議決裂など一部のエマージング株式市場ではネガティブニュースがあり、エマージング株式市場の上昇は限られました。そんな中、エマージング株式市場を投資対象とするファンドの保有割合が多いありがとうファンドでは、世界株の株価指数（＋5.1%）に対してはやや低調なパフォーマンスになりました

２月中の売買状況については、キャピタル ICA ファンドを全売却しました。

今後の見通しについてはどうなっているのかね？教えてもらえないだろうか。

今後の見通しについては、各種地政学リスクなど一過性のイベントはあるものの世界経済は引き続きリーマン・ショックからの回復・成長が続くと考えています。ファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長がより注視される市場になるでしょう。下図ではリーマン・ショック前からの4国・地域の EPS(1 株当たり利益)の水準をまとめました。足元は減税政策の影響などで米国市場の堅調さが目立ちますが、中長期的には今まで低迷していたエマージング市場とヨーロッパ市場の伸びしろは大きいと考えています。



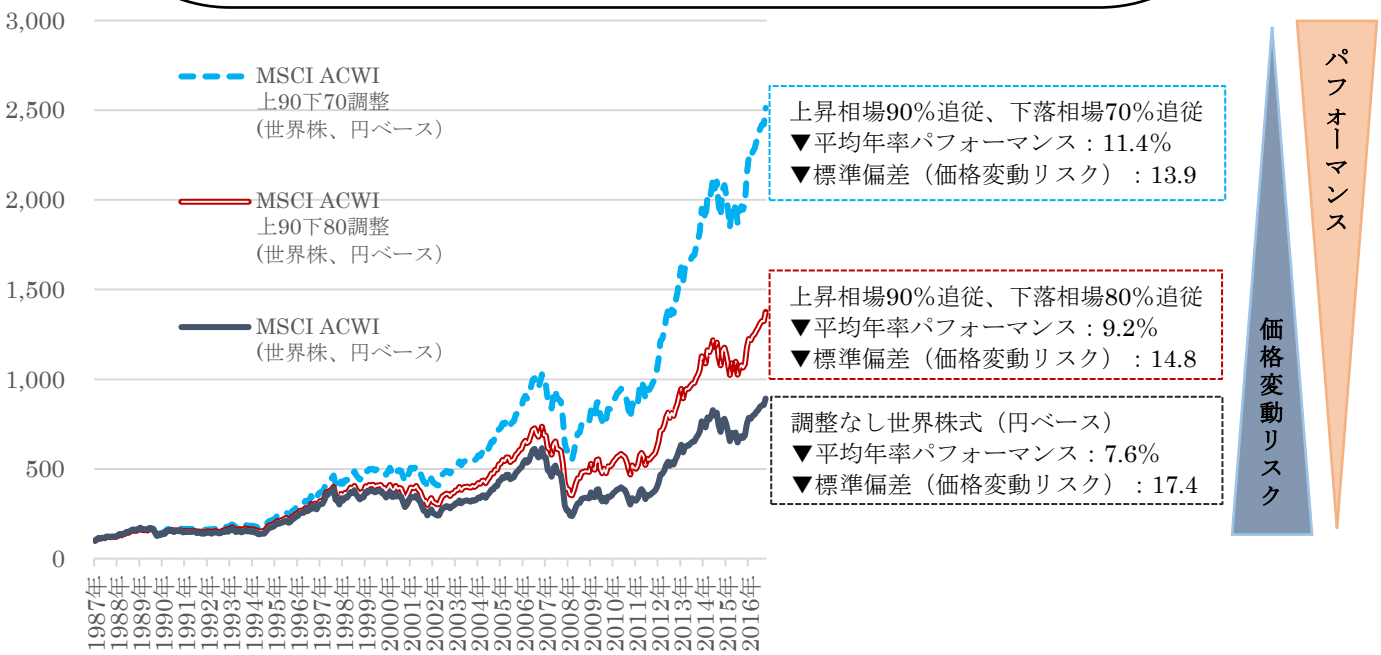
出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、EPS は 2007 年１月末を１として指数化し 2019 年２月末までの推移

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

今後の運用方針についてはどうなっているのかしら。教えてちょうだい。

株式市場という観点から足元の状況を考えると、リーマン・ショック後各国・地域は量的緩和などの金融緩和で各々の経済・市場を支え世界的にカネ余りの状況が続いています。リターンを求めてやや過熱感のある市場も出てきました。このような環境下では一つの市場だけに投資することはリスクが高く、特定の市場に過度に偏ることなく幅広く分散投資することにより長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。ありがとうファンドでは、世界経済の成長をグローバル市場で競争力のある企業の成長に沿った形で享受できるよう、国際分散・厳選・長期投資を継続していきます。

アクティブファンドというと上昇局面で大きく稼ぐといった様な派手なイメージが強いと思いますが、ありがとうファンドでは上昇局面で無理に上値を狙うといった運用よりは市場全体が下落する局面にて市場相対で下げ幅を抑制することにより結果的に長期で安定したパフォーマンスを提供できると考えております。**その源泉としては、①実績のある投資先ファンドによる成長企業の厳選、②国・地域別資産配分の見直し・調整、③金 ETF など株式市場と相関が低い資産を組み入れることによる資産分散を主に考えております。**下図はあくまでも参考までにですが、上昇局面では 90%ほど市場に追従し、下落局面では下落幅を抑制した場合のバックテスト例になります。ダウンサイドリスクを抑制することにより、長期で価格変動リスクを抑えながら運用パフォーマンスを向上できたことが確認いただけると思います。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、株価は 1987 年年初を 100 として指数化し 2017 年 9 月末までの推移

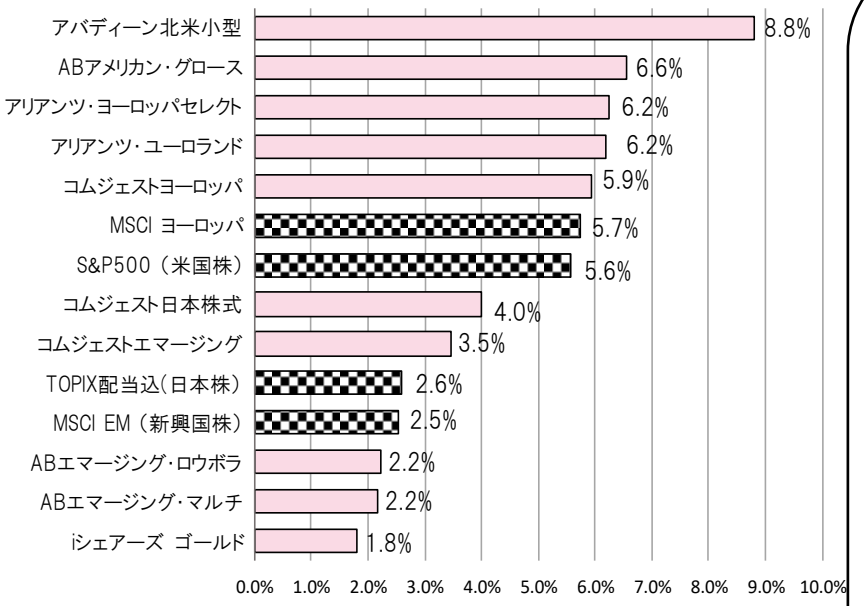
注：上昇・下落局面は月次騰落率ベースで判断。投信会社・ファンド・金融商品取引業者・証券会社・銀行・信託銀行・生命保険会社・損害保険会社・外国投資信託・外国投資法人・投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

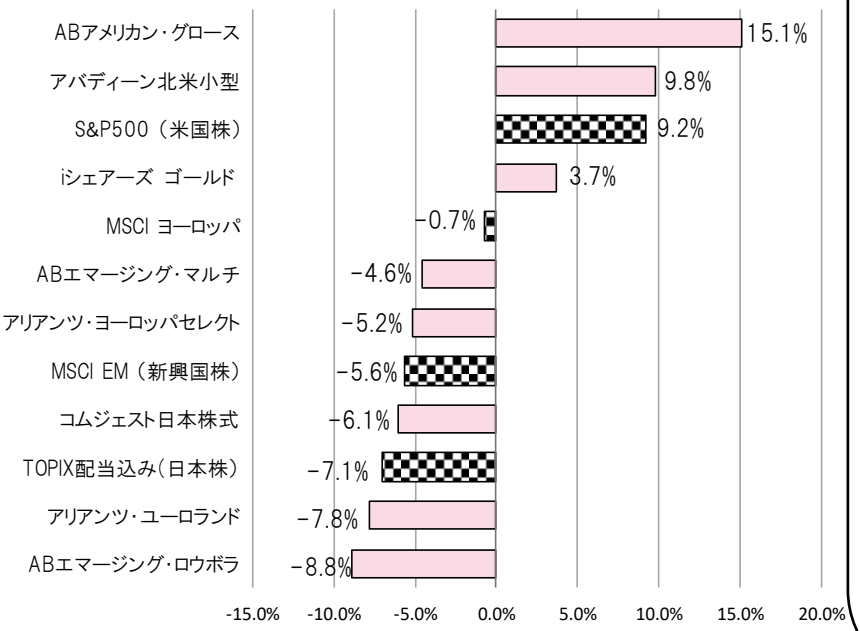
投資先ファンドの状況についても気になる！教えて！教えて！

まずは、投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2019年2月末時点)

【月間騰落率】



【年間騰落率】



※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

月間騰落率については、先進国市場を投資対象としている投資先ファンドの好調が目立ちました。個別の投資先ファンドでは、米国株式市場を主な投資対象としている 2 ファンド(AB アメリカン・グロース、アバディーン北米小型)、ヨーロッパ株式市場を主な投資対象としている 2 ファンド(アリアンツ・ヨーロッパセレクト、アリアンツ・ユーロランド)、がそれぞれの国・地域参考指数(円ベース)に対し好調なパフォーマンスを実現し、ありがとうファンドの基準価額上昇に寄与しました。特に、昨年から組み入れを開始したアバディーン北米小型ファンドの好調な 1 ヶ月となりました。

一方、エマージング株式市場を主な投資対象としている AB エマージング・ロウボラファンドのパフォーマンスがやや低迷しています。これは、ブラジル株式市場の保有割合が低位であったことが、主な要因になっております。この点については、つい先日ニューヨークを拠点でファンドを運用されているサミー鈴木氏が来日され、詳しい報告も受けていますので、詳細については今月後半から開催される半期運用報告会でフォローアップさせていただければと考えております。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、ご一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。（ありがとうファンド運用担当者）

◆投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジェスト日本株式	日本	7.1%	+4.0%	▲3.6%	▲9.1%	▲6.1%			
	TOPIX 配当込み			+2.6%	▲3.3%	▲6.4%	▲7.1%	+32.2%	+47.2%	+8.0%
2	ABアメリカン・グロース	米国	13.5%	+6.6%	+2.6%	+0.7%	+15.1%	+63.8%	+108.5%	+15.8%
3	アバディーン北米小型	米国	9.4%	+8.8%	+1.4%	▲4.8%	+9.8%	+40.7%	+78.0%	+12.2%
	S&P500（米国、円）			+5.6%	▲0.6%	▲2.7%	+9.2%	+51.1%	+81.0%	+12.6%
4	コムジェスト ヨーロッパ	欧州	2.1%	+5.9%	+1.3%	▲9.0%				
5	アリアンツ・ユーロランド グロース	欧州	15.0%	+6.2%	+1.3%	▲12.1%	▲7.8%	+25.6%	+28.6%	+5.2%
6	アリアンツ・ヨーロッパ セレクト	欧州	12.3%	+6.2%	+2.1%	▲10.9%	▲5.2%	+21.6%	+26.3%	+4.8%
	MSCI EUROPE（ヨーロッパ、円）			+5.7%	+3.1%	▲3.0%	▲0.7%	+28.3%	+16.3%	+3.1%
7	コムジェスト エマージング	エマージング	2.4%	+3.5%	+4.0%	+3.6%				
8	ABエマージング ロウボラ・エクイティ	エマージング	19.9%	+2.2%	+1.4%	▲3.1%	▲8.8%	+29.2%		
9	ABエマージング ・マルチ	エマージング	10.9%	+2.2%	+5.1%	+2.3%	▲4.6%	+27.9%	+35.3%	+6.2%
	MSCI EM（新興国株、円）			+2.5%	+4.1%	+0.9%	▲5.6%	+51.8%	+36.0%	+6.3%
10	iシェアーズ ゴールド・トラスト	金ETF	1.7%	+1.8%	+5.3%	+9.8%	+3.7%	+3.5%	+6.8%	+1.3%

注：参考指数（円ベース）の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。（レポート最終ページに注記があります。）

【39紹介プログラムもあるよ♪】

（詳しくは『ありがとう投信ホームページ』＞『39 紹介プログラム』をご覧ください。）

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎コムジェスト日本株式ファンド
マザーファンド株式組入上位5銘柄

2月28日時点

	銘　柄	国	業　種	事業内容	組入比率
1	キーエンス	日本	情報技術	FA(ファクトリーオートメーション＝工場自動化)用センサーをはじめとする各種センサー、測定器、画像処理機器、制御・計測機器、研究開発用解析機器などの開発、製造、販売を行う。	3.7%
2	ファーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	カジュアル衣料専門店「ユニクロ」をグローバルに展開する。近年はアジアなど海外での店舗数拡大を加速	3.4%
3	パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	日本	一般消費財・サービス	「驚安の殿堂」をキャッチフレーズに深夜まで営業する総合DS(ディスカウントストア)「ドン・キホーテ(ドンキ)」を運営。	3.3%
4	GMOペイメントゲートウェイ	日本	情報技術	ネット通販など「非対面販売」を行う事業者(加盟店)などに対して提供している、オンラインでの「決済代行事業」が主力。GMOインターネットが発行済株式数の51.64%(2018年9月末時点)を保有する親会社。	3.0%
5	ダイフク	日本	資本財・サービス	立体自動倉庫やコンベヤなど、搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリング(＝マテハン)システム・機器のメーカーで、世界でもトップクラスのシェアを持つ。	3.0%

◎コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド
マザーファンド株式組入上位5銘柄

2月28日時点

	銘　柄	国	業　種	事業内容	組入比率
1	アマデウスITグループ	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	6.0%
2	エシロールインターナショナル	フランス	ヘルスケア	光学製品メーカー、世界56か国に展開、遠近両用レンズのVariluxで有名	4.8%
3	コロプラスト	デンマーク	ヘルスケア	1957年にデンマークで誕生したグローバルヘルスケア企業、ストーマケア製品に強み	4.5%
4	インディテックス	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名、世界のﾌｧｯｼｮﾝ･ｱﾊﾟﾚﾙのﾘｰﾃﾞｨﾝｸﾞｶﾝﾊﾟﾆｰの一つ	4.2%
5	ストローマン・ホールディング	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー。顎骨に埋め込み、抜歯のあとに義歯を取り付けるための台となる金属デバイスを製造。欧州と北米全域に子会社を保有し、世界中で製品を販売する。	4.1%

◎コムジェスト・エマージングマーケッツ・ファンド
マザーファンド株式組入上位5銘柄

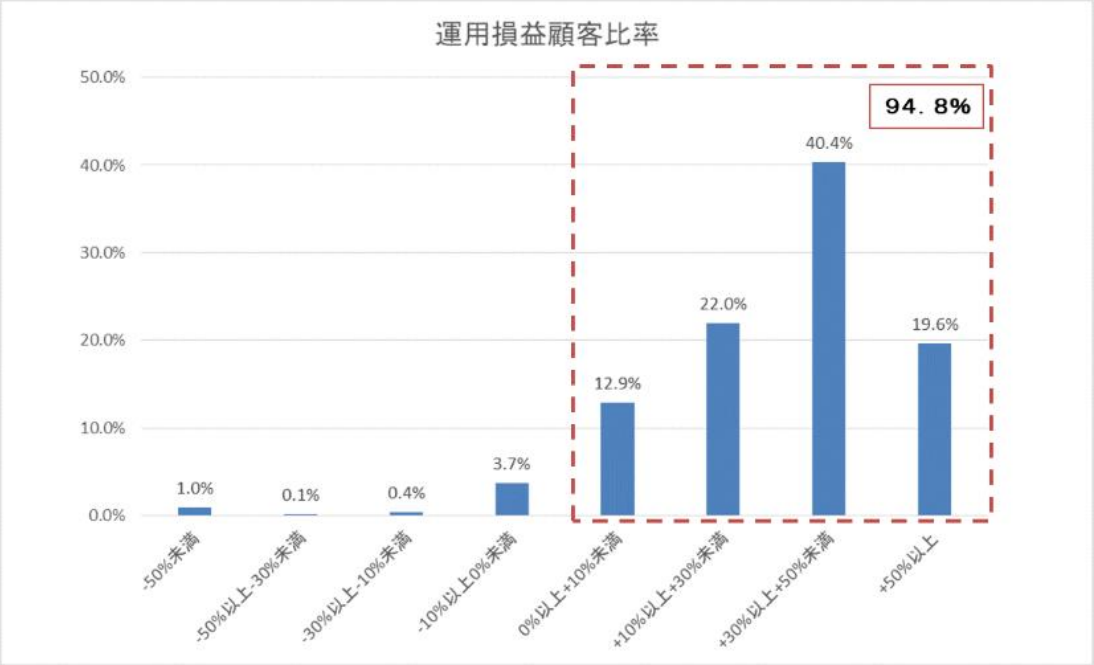
2月28日時点

	銘　柄	国	業　種	事業内容	組入比率
1	ピンアン・インシュアランス(中国平安保険)	中国	金融	生命保険、損害保険、銀行、証券等の事業を手掛ける中国の金融機関。	6.0%
2	台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファンドリーメーカー	4.5%
3	コグニザント・テクノロジー・ソリューションズ	アメリカ	情報技術	情報技術(IT)、コンサルティング、ビジネスプロセス・アウトソーシングの各サービスを提供する。	3.6%
4	サンラム	南アフリカ	金融	保険、ファイナンシャルプランニング、退職プラン、信託、遺言執行、短期保険、資産運用、リスク管理、資本市場活動、投資、資産などの分野に従事。	3.5%
5	ハイクビジョン(杭州海康威視数字技術)	中国	情報技術	ビデオ監視製品の開発を手がける。音声画像処理や動画データストレージ、クラウドコンピューティング、ビッグデータ、ディープラーニングなどの面で優れた技術を持ち、幅広い分野にサービスを提供している。	3.4%

【2019 年 2 月末基準：投資信託の運用損益別顧客比率の実績公表中♪】

（詳しくは『ありがとう投信ホームページ』＞『お知らせ』をご覧ください。）

お客様にご購入いただいたありがとうファンドの運用損益状況を損益区分ごとに公表しております。ありがとうファンドを購入されて資産運用されているお客様のうち、**94.8%の方が運用損益でプラス**となっております。



このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◎アライアンス・バーンスタイン-アメリカン・グロース

1月31日時点

	銘　柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	ALPHABET, INC. Class C	アメリカ	コミュニケーションサービス	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	8.6%
2	VISA, INC. Class A	アメリカ	情報技術	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結ぶ役割を果たす。	4.9%
3	UNITEDHEALTH GROUP, Inc.	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ソフトウェア、データコンサルティングサービスを提供する。	4.7%
4	MICROSOFT CORP.	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	4.6%
5	MONSTER BEVERAGE CORP.	アメリカ	生活必需品	ビタミン、ミネラル、ハーブなどを含む栄養ドリンク「モンスター・エナジー」を生産(同ブランドの売上比率は9割超)。外部のボトラーに製造を委託し、契約先の流通業者に販売を担当させる。	4.2%

◎アライアンス・バーンスタイン-エマージング・マーケッツ・ロウ・ボラティリティ・エクイティ

1月31日時点

	銘　柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	4.7%
2	TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	コミュニケーションサービス	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	4.3%
3	CHINA MOBILE LTD.	中国	コミュニケーションサービス	通信サービス会社。固定電話、ブロードバンド、ローミング、その他関連サービスを提供。香港で事業を展開。	3.4%
4	TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファンドリーメーカー	3.1%
5	ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	一般消費財	インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネ ット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	3.1%

◎アライアンス・バーンスタイン-エマージング・マーケッツ・マルチアセット

1月31日時点

	銘　柄	国	業種・種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1	ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	一般消費財	インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネ ット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	3.7%
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	3.4%
3	TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	コミュニケーションサービス	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	3.0%
4	CHINA PETROLEUM & CHEMICAL CORP	中国	エネルギー	石油・石油化学製品の精製、生産、販売会社。ガソリン、ディーゼル、ジェット燃料、灯油、エチレン、合成繊維、合成ゴム、合成樹脂、化学肥料を提供する。中国で事業を展開。	2.4%
5	LUKOIL PJSC	ロシア	エネルギー	ロシア最大級の石油会社。石油の探鉱、生産、精製、マーケティング、流通に従事している。	2.0%

◎アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース

1月31日時点

	銘　柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業、数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.5%
2	ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィーシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	4.7%
3	AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	4.5%
4	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	フランス	一般消費財	LVMHモエ ヘネシー・ヴィトン(LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE)は、多角化した高級品のグループ。ワインやコニャックなどの酒類をはじめ、香水、化粧品、旅行かばん、時計・宝石類の製造・販売を手掛ける。	4.5%
5	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティー向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティー、その他の各部門を通じ事業を展開。	4.4%

◎アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト

1月31日時点

	銘　柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業、数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.8%
2	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティー向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティー、その他の各部門を通じ事業を展開。	5.1%
3	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	90年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきた製薬会社。インスリンのマーケットシェアは5割前後に至る	4.7%
4	DSV A/S	デンマーク	資本財	運輸グループ持株会社。トラック、船舶、航空輸送サービスや倉庫・ロジスティックスなどのサービスを手掛ける。欧州、北米、極東地域で事業を展開する。	4.3%
5	PRUDENTIAL PLC	イギリス	金融	保険と金融サービスを手がける持株会社。アジア、米国、英国で主要な活動を行う国際金融サービスグループとして、リテール向けの金融商品・サービスと資産運用サービスを提供する。	4.0%

◎アバディーン・グローバル・ノースアメリカン・スモーラーカンパニーズ・ファンド

1月31日時点

	銘　柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	NEENAH INC	アメリカ	素材	グローバルな製紙会社。さまざまな用途に使用される高級紙、用途別用紙、および特殊製品を製造する。米国とドイツで事業を展開する。	3.1%
2	PAYLOCITY HOLDING CORP	アメリカ	情報技術	クラウドベースの 給与・人材管理会社。中規模機関向けのソフトウエア・ソリューションであるHCMも提供 する。	2.8%
3	MEREDITH CORP	アメリカ	コミュニケーションサービス	主に出版事業および放送事業に注力。出版部門は雑誌・書籍の出版、マーケティング、双方向型メディア、ライセンス供与、その他関連事業を手掛ける。放送部門はネットワーク提携テレビ局の運営、番組の共同製作を手掛ける。	2.7%
4	QUAKER CHEMICAL CORP	アメリカ	素材	化学品メーカー。カスタム仕様の化学品を製造・開発・販売する。鋼鉄、自動車、缶などのメーカー向けに、世界中で流体管理サービスも提供する。	2.7%
5	WSFS FINANCIAL CORP	アメリカ	金融	主要子 会社である Wilmington Savings Fund Society, FSB を通じ、米国デラウェア州の ニューキャッスル郡やドーバー市のほか、ペンシルベニア州のチェスター、デラウェ ア、モントゴメリーの各郡にある店舗網を運営。	2.7%

【ありがとうブログも見てね♬】

（詳しくは『ありがとう投信ホームページ』＞『ありがとうブログ』をご覧ください。）

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972%(税抜 0.9%)の率を乗じて得た額とします。 ［実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.6%±0.2%(概算)］ ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧下さい。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。
TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。
※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。
【日本株】→TOPIX配当込み
【世界株】→MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックストータルリターン
【米国株】→S&P500 トータルリターン
【欧州株】→MSCI ヨーロッパ トータルリターン
【エマージング株】→MSCI エマージング トータルリターン

■R&I ファンド大賞について
「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。